

調査名 第62期弁護士キャリアパス第1回郵送調査, 2011

寄託者(寄託時) 第62期弁護士キャリアパス研究会

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

第9522号

◎ 第62期弁護士キャリアパス調査 ◎

2011年1月

(調査企画) 第62期弁護士キャリアパス研究会
研究代表・宮澤節生(青山学院大学)

(調査協力) 日本弁護士連合会

(調査委託機関) 社団法人 中央調査社

(ご記入にあたってのお願い)

- ・ご記入は、すべて封筒の**あて名の先生ご自身**をお願いします。
- ・あなた様ご自身のことなどについて、少し立ち入ったこともお聞きしますが、統計的に分析することが目的で、他の目的に用いることは決してありません。
- ・回答者の識別を可能にする整理番号等はまったくつけておりません。
- ・回答の内容は、調査委託機関によって処理されたデータとしてのみ研究会に引き渡されることになっています。
- ・研究会メンバーや日本弁護士連合会関係者が個々の調査票を見ることは**決してありません**。
- ・欄外の①②などの数字は、調査委託機関がコンピュータで整理するための記号ですので、気にされずにご回答ください。
- ・ご記入は、黒色または青色の鉛筆・ペン・ボールペンをお願いします。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にのみお尋ねするものもありますが、その場合は指示に従ってお進みください。
- ・回答方法は、あてはまる答えについている数字を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字または具体的な回答を記入していただく場合があります。指示に従ってご記入ください。
- ・お忙しいところ大変恐縮ですが、ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて**1月31日(月)まで**にご投函ください。
- ・ご希望の方には調査結果の概要をお送りしますので、同封葉書にご氏名・ご住所をご記入のうえ、シールを貼って、**この調査票とは別に**にご投函ください。

⑤=1

問1. 全員の方に、あなたが合格した司法試験についてお尋ねします。

問1-1 あなたが合格した司法試験は、旧司法試験ですか、新司法試験ですか。(○は1つ)

1 旧 2 新

問1-1-1 あなたが合格した司法試験の選択科目を教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------------|
| 1 倒産法 | 5 労働法 |
| 2 租税法 | 6 環境法 |
| 3 経済法 | 7 国際関係法(公法系) |
| 4 知的財産法 | 8 国際関係法(私法系) |

次ページの間1-2へお進みください。

以下全員にお尋ねします。

問1-2 あなたが合格した年を教えてください。(西暦または和暦のいずれかに記入してください)

西暦 年 和暦 平成 年

⑧⑨
⑩⑪

問1-3 あなたが合格するまでの新司法試験の受験経験を教えてください。

旧司法試験 回 新司法試験 回

⑫⑬
⑭⑮

問1-4 受験準備は、主としてどのような機関等を利用しましたか。以下の(1)～(11)の機関等のそれぞれについて、利用したかどうか、利用した場合には試験合格にどの程度役立ったか、あてはまる番号に○をつけてください。旧司法試験合格者で法科大学院に入学したことがなく、(1)～(4)が該当しない方は、「X 該当しない」に○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

	該当 しない	利用 しな かつ た	【利用した】				
			役に立たな かった	どちらかと いえば 役に立たな かった	どちらかと いえば 役に立った	役に立った	
(1) 法科大学院の正規講義	X	0	1	2	3	4	⑯
(2) 法科大学院の正規演習	X	0	1	2	3	4	⑰
(3) 法科大学院による課外学習指導	X	0	1	2	3	4	⑱
(4) 法科大学院での学生の自主ゼミ	X	0	1	2	3	4	⑲
(5) 予備校の講義 (短答用)		0	1	2	3	4	⑳
(6) 予備校の講義 (論文用)		0	1	2	3	4	㉑
(7) 予備校の答案練習 (短答用)		0	1	2	3	4	㉒
(8) 予備校の答案練習 (論文用)		0	1	2	3	4	㉓
(9) 予備校の模擬試験 (短答用)		0	1	2	3	4	㉔
(10) 予備校の模擬試験 (論文用)		0	1	2	3	4	㉕
(11) 独学		0	1	2	3	4	㉖
(12) その他で役立ったものがあれば、具体的に記入してください。 ()							㉗

【次ページの問2は旧司法試験合格者のみにお尋ねします。

新司法試験合格者の方は4ページの問3に進んでください。】

問2. 旧司法試験合格者の方に受験準備についてお尋ねします。

問2-1 受験準備中の主な期間、生計は主として何によって支えられていましたか。(○はいくつでも)

- 1 自己の収入
- 2 自己の貯蓄
- 3 借金(貸与型奨学金を含む) → (受験準備中の借金総額 約 万円)
- 4 配偶者の収入
- 5 親の収入
- 6 その他(具体的に記入してください)

28

29~32

【問2-1で「1 自己の収入」に○をつけた方にお尋ねします。】

問2-1-1 その収入は、どのような職場で得ていましたか。(○は1つ)

- 1 民間企業
- 2 官公庁
- 3 自営業(具体的に記入してください)
- 4 その他(具体的に記入してください)

33

問2-1-2 あなたの年収(税込)はどれほどでしたか。(○は1つ)

- 1 200万円未満
- 2 200万円以上500万円未満
- 3 500万円以上1000万円未満
- 4 1000万円以上

34

問2-1-3 その収入を得るために、週何時間ぐらい働いていましたか。具体的に記入してください。

週 時間

35-36

【旧司法試験合格者の方、全員にお尋ねします。】

問2-2 受験準備中の家族構成についてお尋ねします。受験準備中のいずれかの時点で生計を共にしていた場合に、「いた」に○をつけてください。同居・別居を問いません。(それぞれ○は1つずつ)

	受験準備中のいずれかの時点	
(1) 配偶者	1 いた	2 いなかった
(2) 12歳以下の子供	1 いた(人数をお書き下さい: _____人)	2 いなかった
(3) 介護を要する家族	1 いた	2 いなかった

37

38-39

40

問2-3 以下の事項は、受験準備中に、勉強する上で負担になったでしょうか。負担になった場合には「負担になった」、ならなかった場合には「負担にならなかった」、これらの負担を負う必要のなかった場合には、「該当せず」に○をつけて下さい。(それぞれ○は1つずつ)

受験準備中に	該当せず	負担にならなかった	負担になった
(1) 生活費を得ること	<input type="checkbox"/>	1 _____	2 _____
(2) 学費を得ること	0	1 _____	2 _____
(3) 家事	0	1 _____	2 _____
(4) 育児	0	1 _____	2 _____
(5) 介護	0	1 _____	2 _____
(6) その他で負担になったことがあれば、具体的に記入してください。 (_____)			

41

42

43

44

45

46

【旧司法試験合格者の方は8ページ問5に進んでください。】

問3. 新司法試験合格者の方に法科大学院についてお尋ねします。

【以下は新司法試験合格者のみにお尋ねします。旧司法試験合格の方は8ページ問5に進んでください。】

問3-1 修了した法科大学院の名称を記入してください。

④7

問3-2 修了した年月を記入してください。
(西暦または和暦のいずれかに記入してください)

西暦	2	0		年			月
和暦	平成			年			月

④8～⑤1

④9～⑤0

問3-3 修了したコース・課程等(○は1つ)

<input type="checkbox"/> 1 2年短縮コース	<input type="checkbox"/> 2 3年標準コース	<input type="checkbox"/> 3 長期履修コース
------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

問3-4 その法科大学院を選択した主な理由を3つ教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。
(3つまで数字に○)

<input type="checkbox"/> 1 出身大学の法科大学院	<input type="checkbox"/> 9 授業料の額
<input type="checkbox"/> 2 大学の旧司法試験実績	<input type="checkbox"/> 10 授業料免除・奨学金
<input type="checkbox"/> 3 大学の社会的評価	<input type="checkbox"/> 11 教員
<input type="checkbox"/> 4 就職に有利	<input type="checkbox"/> 12 カリキュラム
<input type="checkbox"/> 5 通学の便	<input type="checkbox"/> 13 課外の学習指導
<input type="checkbox"/> 6 地域で唯一	<input type="checkbox"/> 14 その他
<input type="checkbox"/> 7 大規模校である	〔具体的に記入してください〕
<input type="checkbox"/> 8 小規模校である	

⑤7

⑤8

問3-5 法科大学院での勉強内容に関して、履修の有無にかかわらず、下に掲げる法科大学院の開講科目等に対するあなたの関心はどの程度でしたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。
開講がなかった科目等にたいしては「開講されなかった」(番号0)に○をつけてください。

(それぞれ○は1つずつ)

	開講されなかった	関心がなかった	どちらかといえば関心がなかった	どちらかといえば関心があった	関心があった
(1) 法律基本科目		1	2	3	4
(2) 民事実務基礎		1	2	3	4
(3) 刑事実務基礎		1	2	3	4
(4) 法曹倫理		1	2	3	4
(5) 模擬裁判	0	1	2	3	4
(6) シミュレーション科目 (面接、交渉、調停の技法など)	0	1	2	3	4
(7) エクスターンシップ (外部の法律事務所等への派遣による学習)	0	1	2	3	4
(8) 法律相談	0	1	2	3	4
(9) 民事系クリニック (具体的民事事件の処理をとおしての学習)	0	1	2	3	4
(10) 刑事系クリニック (具体的刑事事件の処理をとおしての学習)	0	1	2	3	4
(11) 課外の学習指導	0	1	2	3	4

⑤9

⑥0

⑥1

⑥2

⑥3

⑥4

⑥5

⑥6

⑥7

⑥8

⑥9

問3-6 下に掲げる法科大学院の科目で、あなたがとくに積極的に取り組んだものがありますか。
それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

(1) 新司法試験選択科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	⑩
(2) その他の展開・ 先端科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	⑪
(3) 外国法科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	⑫
(4) その他の基礎法学・ 隣接科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	⑬

問3-7 下に掲げる法科大学院の開講科目等のうち、あなたが履修したものについて、あなたの満足度はどの程度でしたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。開講がなかった科目等に対しては「X 開講されなかった」に、開講されたが履修しなかった科目等にたいしては「0 履修しなかった」に、それぞれ○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

	開講され なかった	履修しな かった	【履修した】				
			不満	どちらか といえば 不満	どちらか といえば 満足	満足	
(1) 法律基本科目	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑭
(2) 民事実務基礎	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑮
(3) 刑事実務基礎	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑯
(4) 法曹倫理	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑰
(5) 模擬裁判	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑱
(6) シミュレーション科目 (面接、交渉、調停の 技法など)	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑲
(7) エクスターンシップ	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑳
(8) 法律相談クリニック	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	㉑
(9) 民事系事件受任型 クリニック	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	㉒
(10) 刑事系事件受任型 クリニック	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	㉓
(11) 課外の学習指導	X	0	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	㉔

問3-8 下に掲げる法科大学院の科目で、あなたが履修したものについて、とくに満足したものはありますか。
それぞれあてはまる番号を1つ選んでください。(それぞれ○は1つずつ)

(1) 新司法試験選択科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	⑳
(2) その他の展開・ 先端科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	㉑
(3) 外国法科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	㉒
(4) その他の基礎法学・ 隣接科目	1 ない	2 ある (具体的科目名1つ: _____)	㉓

⑤=2

問3-9 弁護士となって振り返ってみたとき、下記の事項のそれぞれにつき、法科大学院はあなたにとってどの程度有益だったと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

(それぞれ○は1つずつ)

	学ぶ機会が なかった	有益で なかった	どちらかと いえば有益 でなかった	どちらかと いえば有益 だった	有益だった	
(1) 法知識の習得	0	1	2	3	4	⑥
(2) 弁護士を選択する 上での動機づけ	0	1	2	3	4	⑦
(3) 弁護士倫理の習得	0	1	2	3	4	⑧
(4) 実務技能の習得	0	1	2	3	4	⑨
(5) 事務所経営	0	1	2	3	4	⑩
(6) 特定分野への関心の 獲得	0	1	2	3	4	⑪
(7) 登録地に関する情報	0	1	2	3	4	⑫
(8) 就職先に関する情報	0	1	2	3	4	⑬
(9) その他で法科大学院が有益だったことがあれば、具体的に記入してください。	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>					⑭

問3-10 弁護士となって振り返ってみたとき、法科大学院についてとくに改善すべきだと思われるのはどのような事柄ですか。自由に記入してください。

⑮

問4. 新司法試験合格者の方に合格までの生活状況についてお尋ねします。

問4-1 在学中および法科大学院修了後に、生計は主として何によって支えられていましたか。(○はいくつでも)

法科大学院在学中 (○はいくつでも)	修了後合格までの主な期間 (○はいくつでも)
1 自己の収入 2 自己の貯蓄 3 借金 (貸与型奨学金を含む) (在学中の総額 <input style="width: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/> 万円) 4 配偶者の収入 5 親の収入 6 その他 (具体的に記入してください) (<input style="width: 100px; border: 1px solid black;" type="text"/>)	1 自己の収入 2 自己の貯蓄 3 借金 (貸与型奨学金を含む) (修了後の総額 <input style="width: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/> 万円) 4 配偶者の収入 5 親の収入 6 その他 (具体的に記入してください) (<input style="width: 100px; border: 1px solid black;" type="text"/>)
⑮ ⑰～⑲	⑳ ㉑～㉓

【問4-1で「1 自己の収入」に○をつけた方にお尋ねします。】

問4-1-1 その収入は、どのような職場で得ていましたか。(○は1つ)

法科大学院在学中 (○は1つ)	修了後合格までの主な期間 (○は1つ)
1 民間企業 2 官公庁 3 自営業 (具体的に記入してください) (<input style="width: 100px; border: 1px solid black;" type="text"/>) 4 その他 (具体的に記入してください) (<input style="width: 100px; border: 1px solid black;" type="text"/>)	1 民間企業 2 官公庁 3 自営業 (具体的に記入してください) (<input style="width: 100px; border: 1px solid black;" type="text"/>) 4 その他 (具体的に記入してください) (<input style="width: 100px; border: 1px solid black;" type="text"/>)

問4-1-2 あなたの年収 (税込) はどれほどでしたか。(○は1つ)

法科大学院最終学年時 (○は1つ)	修了後合格までの主な期間 (○は1つ)
1 200万円未満 2 200万円以上 500万円未満 3 500万円以上 1000万円未満 4 1000万円以上	1 200万円未満 2 200万円以上 500万円未満 3 500万円以上 1000万円未満 4 1000万円以上

問4-1-3 その収入を得るために、週何時間ぐらい働いていましたか。具体的に記入してください。

法科大学院最終学年時	修了後合格までの主な期間
週 <input style="width: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間	週 <input style="width: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間

【新司法試験合格者の方、全員にお尋ねします。】

問4-2 法科大学院在学中および新司法試験準備期間中の家族構成についてお尋ねします。法科大学院在学中、または新司法試験準備期間中のいずれかの時点で生計を共にしていた場合に、「いた」に○をつけてください。同居・別居を問いません。(それぞれ○は1つずつ)

	法科大学院在学中		法科大学院修了後合格までの期間	
(1) 配偶者	1 いた	2 いなかった	1 いた	2 いなかった
(2) 12歳以下の 子供	1 いた (人数をお書き下さい: 人)	2 いなかった	1 いた (人数をお書き下さい: 人)	2 いなかった
(3) 介護を要する 家族	1 いた	2 いなかった	1 いた	2 いなかった

問4-3 以下の事項は、法科大学院在学中および新司法試験準備期間中に、勉強する上で負担になったでしょうか。負担になった場合には「負担になった」、ならなかった場合には「負担にならなかった」、これらの負担を負う必要のなかった場合には、「該当せず」に○をつけて下さい。(それぞれ○は1つずつ)

	法科大学院在学中			法科大学院修了後合格までの期間				
	該当せず	負担にならなかった	負担になった	該当せず	負担にならなかった	負担になった		
(1) 生活費を得ること	<input type="checkbox"/>	1 _____ 2	<input type="checkbox"/>	1 _____ 2	④⑧	④⑧		
(2) 学費を得ること	<input type="checkbox"/>	1 _____ 2	0	1 _____ 2	④⑨	④⑨		
(3) 家事	0	1 _____ 2	0	1 _____ 2	④⑩	④⑩		
(4) 育児	0	1 _____ 2	0	1 _____ 2	④⑪	④⑪		
(5) 介護	0	1 _____ 2	0	1 _____ 2	④⑫	④⑫		
(6) その他で負担になった事柄があれば、記入してください							④⑬	④⑬

問5. 全員の方に司法修習についてお尋ねします。

問5-1 実務修習の場所はどこですか。配属裁判所名を記入してください。

() 裁判所

⑤④

問5-2 実務修習の場所の希望順位は、1位に希望した場所でしたか。(○は1つ)

1 希望を出していない 2 1位だった 3 1位ではなかった

⑤⑤

問5-3 弁護士となって振り返って見たとき、司法修習の各段階は、どの程度有益であったと思われますか。それぞれの段階について、4段階評価のあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

	有益でなかった	どちらかといえば有益でなかった	どちらかといえば有益だった	有益だった	
(1) 前期修習 (旧試験合格の方のみ)	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑤⑥
(2) 弁護実務修習	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑤⑦
(3) 民事裁判実務修習	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑤⑧
(4) 刑事裁判実務修習	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑤⑨
(5) 検察実務修習	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑥⑩
(6) 後期修習 (旧試験合格の方) または集合修習 (新試験合格の方)	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	⑥⑪

新司法試験合格の方のみにうかがいます。

問5-3-1 弁護士となって振り返って見たとき、選択型実務修習で有益であったものはありますか。

(○は1つ)

- 1 あり (具体的に記入してください)
2 なし

⑥⑫

【全員の方にお尋ねします。】

問5-4 弁護士となって振り返って見たとき、司法修習は、下記の事柄に関してどの程度有益であったと思われますか。それぞれの事柄について、4段階評価のあてはまる番号に○をつけてください

(それぞれ○は1つずつ)

	学ぶ機会が なかった	有益で なかった	どちらかと いえば有益 でなかった	どちらかと いえば有益 だった	有益だった
(1) 法知識の習得	0	1	2	3	4
(2) 弁護士を選択する 上での動機づけ	0	1	2	3	4
(3) 弁護士倫理の習得	0	1	2	3	4
(4) 実務技能の習得	0	1	2	3	4
(5) 事務所経営	0	1	2	3	4
(6) 特定分野への関心の 獲得	0	1	2	3	4
(7) 登録地に関する情報	0	1	2	3	4
(8) 就職先に関する情報	0	1	2	3	4
(9) その他で司法修習が有益だったことがあれば、具体的に記入してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; min-height: 40px;"> </div>				

63
64
65
66
67
68
69
70
71

問5-5 弁護士となって振り返って見たとき、司法修習についてとくに改善すべきだと思われるのはどのような事柄ですか。自由に記入してください。

72

【次のページへお進みください。】

【全員の方にお尋ねします。】

⑤-3

問6 法曹三者の中で弁護士を選んだ理由

法曹三者の中で弁護士を選んだ理由は何ですか。下記の(1)～(10)の理由について、4段階評価のあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

	あてはまらない	どちらかといえばあてはまらない	どちらかといえばあてはまる	あてはまる	
(1) 弁護士のほうが社会正義を実現できると考えたため	1	2	3	4	⑥
(2) 弁護士の在野性に魅力を感じたため	1	2	3	4	⑦
(3) 弁護士のほうが経済的に恵まれていると考えたため	1	2	3	4	⑧
(4) 弁護士は仕事の内容や勤務地を自分で決められると考えたため	1	2	3	4	⑨
(5) 弁護士のほうが社会・市民や経済活動と近い立場にあるため	1	2	3	4	⑩
(6) 弁護士の仕事のほうが知的に興味深いと考えたため	1	2	3	4	⑪
(7) 法律家はすべからく一度は弁護士としての仕事を体験すべきであると考えたため	1	2	3	4	⑫
(8) 将来のキャリアアップにつながると考えたため	1	2	3	4	⑬
(9) 裁判官・検察官に任官したかったが希望がかなえられなかったため	1	2	3	4	⑭
(10) 家族・親族に弁護士がいたため	1	2	3	4	⑮
(11) その他の理由があれば具体的に記入してください ()					⑯

問7 最初の就職が決まった時期

旧司法試験合格者・新司法試験合格者のそれぞれについて、最初の就職が決まった時期について、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

旧司法試験合格者の方	1 修習前	2 修習中	3 修習後	⑰
------------	-------	-------	-------	---

新司法試験合格者の方	1 短答合格前	4 実務修習中	⑱
	2 最終合格発表前	5 選択型・集合修習中	
	3 修習開始前	6 修習後	

問8 あなたの登録時期と登録弁護士会

登録時期 (空欄に記入)	最初の職場		(職場を変えられた方のみ) 2つめの職場		⑲～⑳
	西暦()年()月 または 和暦 平成()年()月		西暦()年()月 または 和暦 平成()年()月		
登録弁護士会 (あてはまるもの1つに○)	1 東京三会		← 1		㉑ ㉒
	2 大阪		← 2		
	3 他の高裁本庁のある弁護士会		← 3		
	4 その他の弁護士会		← 4		

問9 あなたの職場（事務所）

あなたの職場（事務所）についてお尋ねします。職場（事務所）を変えたことがある方は、2つめの職場（事務所）についてもお答えください。

		(職場を変えられた方のみ)	
		最初の職場	2つめの職場
		↓それぞれあてはまる番号1つに○	↓それぞれあてはまる番号1つに○
職 場 の 所 在 地	職場の所在地 (市区町村)	1 東京23区・政令指定都市	← 1
		2 その他の県庁所在地	← 2
		3 上記以外	← 3
	所在地の市区町村 内の弁護士数	1 弁護士が10名以上存在する	← 1
		2 弁護士が10名未満しか存在しない	← 2
	所在地の選択理由 (○はいくつでも)	1 家庭の事情	← 1
		2 出身地	← 2
		3 修習地	← 3
		4 希望する業務の可能性	← 4
		5 弁護士過疎地であること	← 5
		6 就職先の所在地だったから	← 6
	7 その他：具体的に記入してください 〔 〕	← 7	
	職 場 に つ い て	あなたの 職場の種類と 職場での地位	1 民間法律事務所での唯一の弁護士である 「経営弁護士」
2 民間法律事務所での複数の弁護士がいる 中での唯一の「経営弁護士」			← 2
3 民間法律事務所での複数の「経営弁護士」 がいる中での「経営弁護士」のひとり			← 3
4 民間法律事務所の「勤務弁護士」			← 4
5 民間法律事務所の「独立採算弁護士」			← 5
6 公設事務所			← 6
7 法テラス法律事務所の「常勤弁護士」			← 7
8 法科大学院のクリニック			← 8
9 企業内法務部門の「責任者」			← 9
10 企業内法務部門の「スタッフ弁護士」			← 10
11 社内監査役			← 11
12 官庁内			← 12
13 国会議員政策秘書			← 13
14 その他：具体的に記入してください 〔 〕			← 14
		↓あてはまる番号に○・空欄に人数を記入	↓あてはまる番号に○・空欄に記入
職場の弁護士数	1 弁護士 () 名	← 1 () 名	
	2 外国法事務弁護士 () 名	← 2 () 名	
	3 外国弁護士 () 名	← 3 () 名	

46 47～49 50～52 53～55

61 62 ● 65～67 68～70

問 10 登録している職場（事務所）を選択した理由

あなたが登録している職場（事務所）を選択した理由についてお尋ねします。(1)～(23)の理由について、それぞれ、「1 あてはまらない」～「4 あてはまる」のいずれかの番号に○をつけてください。職場（事務所）を変えたことがある方は、2つめの職場についてもお答えください。（それぞれ○は1つずつ）

番号	最初の職場					職場を変えた方のみ								
	理由	あては まらな い	どち らか とい えあ ては まら ない	どち らか とい えあ ては ま る	あては ま る	理由	あては まらな い	どち らか とい えあ ては まら ない	どち らか とい えあ ては ま る	あては ま る				
													2つめの職場	
(1)	所属弁護士に勧誘された	1	2	3	4	勧誘	1	2	3	4	⑥	③①		
(2)	やりたい仕事ができる	1	2	3	4	やりたい仕事	1	2	3	4	⑦	③①		
(3)	収入等の経済的条件がよい	1	2	3	4	経済的条件	1	2	3	4	⑧	③②		
(4)	自分で事件を受任することができる	1	2	3	4	事件受任可	1	2	3	4	⑨	③③		
(5)	入所先等に将来性がある	1	2	3	4	入所先将来性	1	2	3	4	⑩	③④		
(6)	将来が希望どおりである (パートナーになれる等)	1	2	3	4	将来の希望	1	2	3	4	⑪	③⑤		
(7)	契約期間	1	2	3	4	契約期間	1	2	3	4	⑫	③⑥		
(8)	時間にゆとりがある	1	2	3	4	時間のゆとり	1	2	3	4	⑬	③⑦		
(9)	産休、育休がとれる	1	2	3	4	産休・育休	1	2	3	4	⑭	③⑧		
(10)	会務が自由にできる	1	2	3	4	会務	1	2	3	4	⑮	③⑨		
(11)	プロボノ活動が自由にできる	1	2	3	4	プロボノ活動	1	2	3	4	⑯	④①		
(12)	性別を活かした仕事ができる	1	2	3	4	性別	1	2	3	4	⑰	④①		
(13)	良好な人間関係が期待できる	1	2	3	4	人間関係	1	2	3	4	⑱	④②		
(14)	実家、地元に近い	1	2	3	4	実家・地元	1	2	3	4	⑲	④③		
(15)	実務修習地の事務所だった	1	2	3	4	実務修習地	1	2	3	4	⑳	④④		
(16)	出身法科大学院の所在地の事務所だった	1	2	3	4	出身法科大学院地	1	2	3	4	㉑	④⑤		
(17)	就業地の司法サービスの充実に貢献したい	1	2	3	4	司法サービス充実	1	2	3	4	㉒	④⑥		
(18)	弁護士過疎地に就職しなかった	1	2	3	4	過疎地	1	2	3	4	㉓	④⑦		
(19)	社会人経験を活かした仕事ができる	1	2	3	4	社会人経験	1	2	3	4	㉔	④⑧		
(20)	司法試験合格前の所属企業だった	1	2	3	4	元所属企業	1	2	3	4	㉕	④⑨		
(21)	家族・親族の事務所だった	1	2	3	4	家族・親族事務所	1	2	3	4	㉖	④⑩		
(22)	他に選択肢がなかった	1	2	3	4	他に選択肢なし	1	2	3	4	㉗	④⑪		
(23)	自分で事務所を開設した	1	2	3	4	自分で開設	1	2	3	4	㉘	④⑫		
(24)	その他の理由があれば具体的に記入してください ()						その他の理由があれば具体的に記入してください ()						㉙	④⑬

問 11 労働時間

問 11-1 弁護士登録後の活動を振り返ってみて、あなたの週あたりの平均総労働時間は、およそ何時間になりますか。概算で時間数をお答えください。

週平均 およそ 時間 ⑤4～⑤6

問 11-2 弁護士登録後の活動を振り返ってみて、あなたの総労働時間のうち、次に挙げる業務または活動にあてられる時間はどれくらいの割合を占めますか。全体が 100%になるように、それぞれの割合（パーセンテージ）をお答えください。

	週あたり平均総労働時間に占める割合	
(ア) あなた自身の、もしくはあなたの所属組織の報酬基準にもとづいてクライアントから報酬を受領する通常の弁護士業務	%	⑤7～⑤9
(イ) 企業・官庁の組織内弁護士として、雇用されている組織のために行う弁護士業務	%	⑥0～⑥2
(ウ) 所属事務所あるいは組織の上司の指示に基づいて行う補助的業務	%	⑥3～⑥5
(エ) 国選弁護や法律扶助など公的機関から報酬を得て行う弁護士業務	%	⑥6～⑥8
(オ) 弁護団活動、プロボノ活動など、低報酬または無報酬で行う公益業務	%	⑥9～⑦1
(カ) 大学（院）教員・チューターなどとしての教育活動	%	⑦2～⑦4
(キ) 国や自治体の非常勤公務員、議員、社外取締役・監査役、講演など、社会における活動	%	⑦5～⑦7
(ク) 研究活動・著述活動など	%	⑦8～⑧0
(ケ) 弁護士会における活動（会務、研修、研究会など）	%	⑧1～⑧3
(コ) その他（具体的に： <input type="text"/> ）	%	⑧4～⑧6
合 計	1 0 0 %	

問 12 民事分野の労働時間配分 ⑧5=5

あなたの業務内容のうち、民事分野についてのみお尋ねします。あなたは、弁護士登録後、民事分野で取り扱った業務で、下の各種類の業務のそれぞれにどれくらいの時間を費やしていますか。民事分野業務全体が 100%になるように、そこに占めるおおよその割合（パーセンテージ）でお答えください。

	民事分野の種類	民事の業務の週あたり平均総労働時間に対する割合	
紛争案件	(ア) 訴訟案件	%	⑧6～⑧8
	(イ) 調停案件	%	⑨～⑪
	(ウ) その他裁判所手続案件（労働審判、非訟事件、執行、管財など）	%	⑫～⑭
	(エ) 準司法手続案件（行政不服申立て、審査請求など）	%	⑮～⑰
	(オ) その他紛争案件（行政機関・民間等の ADR 利用を含む）	%	⑱～㉑
非紛争案件	(カ) 依頼者のための交渉、調査、文書作成など	%	㉒～㉔
	(キ) 企業・官庁の組織内弁護士としての、組織トップ・他部門などのための交渉、助言、調査、文書作成など	%	㉕～㉗
	(ク) その他非紛争案件	%	㉘～㉚
	合 計	1 0 0 %	

問13 業務分野別の労働時間配分

弁護士登録後、依頼者（顧問先を含む）または所属組織（組織内弁護士の場合）のためにあなたが取り扱った業務で、どのような業務にどれほど時間を使いましたか。下に挙げる業務分野ごとに、どれくらい時間を使ったか、その程度につき、あてはまるものを1つ選んでください。

（ア）～（ヤ）のそれぞれを横に読んで、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください

		使 ま つ た く ら い の 時 間 を 使 っ た	使 わ な か つ た 時 間 を 使 っ た	あ る 程 度 の 時 間 を 使 っ た	か な り の 時 間 を 使 っ た	
刑事	(ア) 刑事弁護	1	2	3	4	㉔
	(イ) 少年事件	1	2	3	4	㉕
	(ウ) 犯罪被害者支援	1	2	3	4	㉖
一般民事	(エ) 遺言・相続	1	2	3	4	㉗
	(オ) 近隣関係問題	1	2	3	4	㉘
	(カ) 不動産売買	1	2	3	4	㉙
	(キ) 建築紛争	1	2	3	4	㉚
	(ク) 債権回収	1	2	3	4	㉛
	(ケ) 労働災害	1	2	3	4	㉜
外国人の人権問題	(コ) 外国人の人権問題	1	2	3	4	㉝
消費者問題	(サ) 消費者側	1	2	3	4	㉞
	(シ) 業者側	1	2	3	4	㉟
環境・公害問題	(ス) 環境・公害問題	1	2	3	4	㊱
交通事故	(セ) 原告側	1	2	3	4	㊲
	(ソ) 被告・保険会社側	1	2	3	4	㊳
医療事故	(タ) 患者側	1	2	3	4	㊴
	(チ) 医師・病院側	1	2	3	4	㊵
家族・親族	(ツ) 国内事件	1	2	3	4	㊶
	(テ) 国際事件	1	2	3	4	㊷
不動産賃貸借	(ト) 貸し主側	1	2	3	4	㊸
	(ナ) 借り手側	1	2	3	4	㊹
労働問題	(ニ) 労働者側	1	2	3	4	㊺
	(ヌ) 使用者側	1	2	3	4	㊻
行政事件	(ネ) 個人代理	1	2	3	4	㊼
	(ノ) 企業代理	1	2	3	4	㊽
	(ハ) 行政機関代理	1	2	3	4	㊾
税金問題	(ヒ) 個人・零細企業代理	1	2	3	4	㊿
	(フ) その他企業代理	1	2	3	4	㊽
倒産処理・債務整理	(ヘ) 任意整理・個人再生・個人破産	1	2	3	4	㊿
	(ホ) 企業倒産・整理・再生	1	2	3	4	㊽
	(マ) 破産管財人・再生監督委員	1	2	3	4	㊽
企業法務	(ミ) 企業合併・買収	1	2	3	4	㊽
	(ム) 独占禁止	1	2	3	4	㊽
	(メ) 知的財産	1	2	3	4	㊽
	(モ) 渉外・国際取引	1	2	3	4	㊽
	(ヤ) その他の企業法務	1	2	3	4	㊽

問 14 依頼者・所属組織の種類と労働時間配分

弁護士登録後、あなたが依頼者（顧問先を含む）あるいは所属組織（組織内弁護士の場合）などのために行った業務を振り返って見て、どのような依頼者・所属組織の業務にどれだけの時間を費やしましたか。下に挙げる依頼者・所属組織の種類ごとに、**全体が 100%となるように**、そこに占めるおおよその割合（パーセンテージ）でお答えください。

依頼者・所属組織の種類	総労働時間に占める割合	
(ア) 個人（扶助案件・国選弁護案件）	%	⑥⑤～⑥⑧
(イ) 個人（扶助案件・国選弁護案件以外）	%	⑥⑨～⑦①
(ウ) 全国規模の大企業	%	⑦②～⑦④
(エ) 地元の大企業	%	⑦⑤～⑦⑦
(オ) 中小企業	%	⑦⑧～⑧①
(カ) 官公庁	%	⑧①～⑧③
(キ) その他	%	⑧④～⑧⑥
合 計	1 0 0 %	

問 15 所得

⑤=6

あなたの2010年の年収（**税込。確定申告をする場合は申告所得**）はどの程度になると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

1 200万円未満	4 1000万円以上2000万円未満	⑥
2 200万円以上500万円未満	5 2000万円以上	
3 500万円以上1000万円未満		

問 16 満足度

問 16-1 あなたは、現在、弁護士としての職業生活において、**全般的に**どの程度満足していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

不満足	どちらかといえば 不満足	どちらかといえば 満足	満足	
1	2	3	4	⑦

問 16-2 あなたは、現在、弁護士としての職業生活において、次の(1)から(3)の各項目についてどの程度満足していますか。それぞれの事項につき、あてはまる番号に○をつけてください。

(それぞれ○は1つずつ)

	不満足	どちらか い え ば 不 満 足	どちら か と い え ば 満 足	満 足	
(1) 自分の収入あるいは給与	1	2	3	4	⑧
(2) 自分の労働時間の管理の自由度	1	2	3	4	⑨
(3) 日常的に従事している業務の内容	1	2	3	4	⑩

問 16-3 その他、とくに満足を感じている事柄があれば記入してください。

⑪

問 16-4 その他、とくに不満を感じている事柄があれば記入してください。

⑫

問 17 キャリアを積むうえでの負担

以下の事項は、弁護士としてのキャリアを積むうえで、なんらかの負担になっているでしょうか。負担になっている場合には「負担になっている」、なっていない場合には「負担になっていない」、これらの負担を負う必要のない場合には、「該当せず」に○をつけて下さい。(それぞれ○は1つつ)

	該当せず	負担になっていない	負担になっている
(1) 生活費を得ること		1 _____ 2	
(2) 家事	0	1 _____ 2	
(3) 育児	0	1 _____ 2	
(4) 介護	0	1 _____ 2	

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

(5) その他で負担になっていることがあれば、具体的に記入してください。

[

問 18 将来への不安

あなたは、弁護士としてのご自分の将来に不安を感じることはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

不安はない	どちらかといえば 不安はない	どちらかといえば 不安がある	不安がある
1	2	3	4

⑱

↓
【弁護士としての自分の将来に不安を感じることがあると答えた方に】

問 18-1 どのような点で最も不安を感じていますか。具体的に説明してください。

⑲

【最後に、現在のあなた自身に関する基本的な情報をお伺いします】

F 1 あなたの性別

1 男性 2 女性 ㉔

F 2 あなたの生年。西暦または和暦のいずれかでお答えください。

西暦 1 9 年、 和暦 昭和 年 ㉕-㉗

F 3 配偶者はいますか。(○は1つ)

1 いる 2 いない → F 4へお進みください ㉘

【F 3で「1 いる」と答えた方にお尋ねします。】

F 3-1 配偶者はどのような職業に就いていますか。(○は1つ)

1 弁護士
2 裁判官または検察官
3 その他の公務員
4 民間企業の役員・従業員 ㉙
5 自営業
6 その他(具体的に記入してください)
7 無職

【F 3で「1 いる」と答えた方にお尋ねします。】

F 3-2 配偶者の年収(税込。確定申告をする場合は申告所得)はどれほどですか。(○は1つ)

1 なし 4 500万円以上 1000万円未満 ㉚
2 200万円未満 5 1000万円以上
3 200万円以上 500万円未満

【全員の方にお尋ねします。】

F 4 現在生計を共にしているご家族のうちの、お子さんの数および介護を要する人の数をご記入ください。
同居・別居を問いません。

(いないときは0と記入してください)

未就学児童の数	小学生の数	中学生以上の数	介護を要する人の数
人	人	人	人

㉛-㉜

F 5 あなたが国内で在籍したことがある学部・学科・大学院を、すべてお答えください。(○はいくつでも)

1 法学系学部・学科・大学院(法科大学院を除く)
2 法科大学院
3 他の文系学部・学科・大学院 ㉝
4 理系学部・学科・大学院
5 その他の学部・学科・大学院(具体的に記入してください)
6 大学・大学院に入学したことはない

F 6 外国での学士号以上の学位取得の有無をお答えください。(〇はいくつでも)

1 外国での学位は取得していない	5 J.D.	③
2 B.S. / B.A.等の学士号	6 J.D.以外の博士号	
3 LL.M.	7 その他	
4 LL.M.以外の修士号	(具体的に記入してください)	

F 7 あなたは、弁護士登録をする前に、何か別の職業に就いていましたか。就いていた場合はどんな職業でしたか。次の職業の中であてはまるものの番号すべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)
さらに、それらの職業をどの程度の期間経験したかを、年月数でご記入ください。

弁護士登録前の職業	在職期間(年月数)	
1 弁護士以外の職業についたことはない	_____	③
2 裁判所事務官・書記官、検察事務官	約 年 月	③～⑧
3 2以外の国家公務員・地方公務員	約 年 月	③～⑫
4 民間企業の役員・従業員	約 年 月	⑬～⑮
5 隣接法律専門職者(具体的名称: _____)	約 年 月	⑯～⑳
6 その他の職業(具体的に: _____)	約 年 月	⑳～㉔

質問は以上です。長時間ご協力をいただき、まことにありがとうございました。心から感謝いたします。

ご希望の方には調査結果の概要をお送りしますので、同封の葉書にご氏名・ご住所をご記入のうえ、シールを貼って、この調査票とは別にご投函ください。